2020/06/03(水)13:17

科目	心理学基礎実験実習Ⅱ(心A)	単位数	1
担当教員	多田 美香里、佐伯 恵里奈、林 美恵子、山田 富美雄		
履修対象	心理科学科2年秋学期		
目的	心理学の実験を通して実証的な考え方を学ぶことがこの科目のねらいです。心理学基礎実験Ⅰで学んだことを活かして、さらに高度なデータ処理方法や考察を深めることにも挑戦しましょう。		
達成目標	<p>「知識・技能」</p> <p>(1)実験の目的に合わせて実験計画を立てることができる。</p> <p>(2)実験データの収集および処理を適切に行うことができる。</p> <p>(3)実験の結果について適切な解釈ができ、報告書を作成することができる。</p> <p>「思考力・判断力・表現力」</p> <p>(1)実験を通して仮説検証について学び、実証的な考え方をできるようになる。</p> <p>(2)研究報告書の作成を通じて、科学的・客観的な表現ができる。</p> <p>「主体性・多様性・協働性」</p> <p>(1)実験結果を様々な視点から考察することができる。</p> <p>(2)心理学の研究例について改善点やより良い検証方法の提案ができる。</p>		
授業計画			
1	ガイダンスと復習課題:受講の注意点の確認、実験およびレポート作成に関する復習課題を行います。		
2	SD法によるイメージの測定と比較(1):実験の意義と目的を解説し、実験計画を立案します。		
3	SD法によるイメージの測定と比較(2):実験を実施し、データの収集・処理を行います。		
4	SD法によるイメージの測定と比較(3):データの分析と解釈、報告書作成指導、個別質問受付を行います。		
5	ミュラー・リヤーの錯視(1):実験の意義と目的を解説し、実験計画を立案します。		
6	ミュラー・リヤーの錯視(2):実験を実施し、データの収集・処理を行います。		
7	ミュラー・リヤーの錯視(3):データの分析と解釈、報告書作成指導、個別質問受付を行います。		
8	行動観察(1):実験の意義と目的を解説し、実験計画を立案します。		
9	行動観察(2):実験を実施し、データの収集・処理を行います。		
10	行動観察(3):データの分析と解釈、報告書作成指導、個別質問受付を行います。		
11	生理データの測定(1):生理反応を実際に計測し、実験の意義と目的を解説し、実験計画を立案します。		
12	生理データの測定(2):生理反応をもちいた心理学実験を実施し、データの収集・処理を行います。		
13	生理データの測定(3):生理データの分析と解釈、報告書作成指導、個別質問受付を行います。		
14	実習のまとめ(1):これまでの実習で学んだことを確認するための課題を行います。		
15	実習のまとめ(2):これまでのレポートを元に、実験およびレポート作成に関する個別指導を行います。		
授業形態/具体的な内容	4つの実験を3週ずつ順に行う予定です。順番は班によって異なります。実習の報告書としてレポートを提出し、添削を受け、修正を繰り返しながら、科学論文を書く力を養います。		
教科書			
教科書名	著者名	出版社	金額
教科書は使用せず、教員が用意した教材に基づいて授業をすすめます。			
参考書	心理学実験指導研究会(1985)実験とテスト=心理学の基礎 培風館 日本心理学会認定心理士資格認定委員会(2015)認定心理士資格準拠 実験・実習で学ぶ心理学の基礎 金子書房		
成績評価の基準・方法	成績評価の基準:実験報告書(レポート)が作成でき、心理学の実験について理解すること。 成績評価の方法:各レポートは、別途配布する評価表の基準によって100点満点で評価します。4つのレポートの平均点を80%、受講態度(実験への貢献度、積極性等)を20%とします。		
留意点	授業中は、実験の実施に適した環境づくりを各自心がけてください。		
準備学習	心理学基礎実験Ⅰで習得したことを深めていきます。以前添削を受けたレポートや、実習の反省点などを振り返って復習しておいてください。また、理解を深めるために、実験心理学、心理学研究法に関する書籍を読んでおくことを推奨します。		
備考	レポート(実験の報告書)はすべてのテーマで提出し、期限までに提出されない場合は成績評価対象になりません。また、提出されたレポートはテーマ担当教員が採点・添削を行います。レポートは期限までに添削したレポートは返却しますので、各自で保管し、次のレポート作成に役立ててください。なお、合格点に達しないレポートには再提出を課します。期限までに再提出されない場合、そのテーマのレポートは0点になります。	No.	PY622002